

〔續千載和歌集釋十教〕信解品譬如童子幼稚無識の心を
しらでこそ結び置けめあげまきのいとけなかりしほどの契を

法印定爲

〔類聚名義抄^上〕莖^{タケヒト} 壯^{側亮反} 壯^{和者ウ} 壯^正

〔倭名類聚抄^二〕壯士^{男女} 日本私記云壯士^{太[○]介[○]木[○]} 壯士^{比[○]止}

〔箋注倭名類聚抄^一〕壯士見神代紀下按壯士出史記荆軻傳說文壯大也

〔東雅人倫〕人^{ヒト} 略[○] 中 亦小兒をアコといふ[○] 中 年既に長じては男をばヲトゴといひ[○] 古事記

〔壯夫の字をヲトゴと讀むと註し萬葉集には壯士の字をヲトゴと讀みたり

〔古事記^上〕伊邪那美命先言阿那邇夜志愛^上 袁登古袁^{此十字以後伊邪那岐命言阿那邇夜志愛^上}

袁登賣袁

〔古事記傳^四〕袁登古は古は袁登賣と對ふ稱にて下に訓壯夫云袁等古と見え書紀には少男此云

鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若} 鳥等孤^{少は若}

假字を^書も非なり^又 袁登賣は^袁 袁登古に對て^若 若く盛なる女を云稱なり^方 方葉には處女未通女など

知云々と然らず^此 袁登賣は^美 美夜受比賣にて^御 御歌に^袁 袁登賣能^登 登許能^辨 辨爾和^賀 賀淡岐斯部^流 流岐能^多 多

子の輕大耶女に^新 是等の嫁後をいへり^又 童なるをも云ること多し^袁 袁登古とは童なるをば

袁登賣とよみ賜へり^是 是等の嫁後をいへり^又 童なるをも云ること多し^袁 袁登古とは童なるをば

〔日本書紀^一〕時陰神先唱曰^喜 喜哉遇可美少男焉^{少男此云} 陽神不悅[○] 中 是行也陽神先唱曰喜哉

遇可美少女焉^{少女此云}

〔古事記^上〕即於其石所燒著而死[○] 大穴 爾其御祖神哭患而參上于天請神產巢日之命時乃遣蠶貝

比賣與蛤貝比賣令作活[○] 中 成麗壯夫^{訓壯夫云} 而出遊行[○] 下

〔萬葉集^六〕湯原王月歌二首